



パトロールニュース

日本スキーパトロール協議会情報誌

P1

2023 SAJ 公認スキーパトロール検定会



P2

第1会場 ルスツリゾート 合格記

第85号



P3-4

第2会場 ハンターマウンテン塩原 合格記

P5

第1会場 検定風景



P6-8

第2会場 検定風景

P9

西日本会場
公認スキーパトロール
研修会



P10

東日本会場
公認スキーパトロール
総会・研修会



P11-12

知って納得！
ウィンターリゾートの
裏側見学会
バックヤードツアー



P13-15

私たちの仲間
リステルスキーファン
タジアスキー場



P16-18

第52回 JSPA 総会
広島大会の御案内

P19

事務局より
・新終身会員の紹介
・寄付者受領名簿・ほか

発行 日本スキーパトロール協議会
発行日 2023年6月15日
発行責任者 遠藤 正
総務担当 〒063-0001 北海道札幌市西区山の手1条6丁目3-6
富樫 美昭 TEL080-2014-3339 FAX011-621-1328
広報誌作成 石川 由紀子 TEL090-2479-1812
ホームページ <https://jspa-net.jp/> Eメール info_ski@jspa-net.jp

日本スキーパトロール協議会

ホームページは、
右のQRコードから
またはJSPAで検索



JSPA

検索

2023 SAJ 公認スキーパトロール検定会

2023年2月23日(木)～2月25日(土)に栃木県ハンターマウンテンスキー場、2023年2月24日(金)～2月26日(日)北海道ルスツリゾートにて、公認スキーパトロール検定会が開催されました。

両会場の日程がスキー場の関係で1日ずれましたが、理論試験は公正を期すため24日(金)15:00～16:30に同時に実施されました。第1会場の雪上種目で若干の雪が降ったものの天候もよく、順調に検定会が進められました。

総勢49名の受検者で、41名の公認スキーパトロールが誕生し、うち28名がJSPAに入会されました。

先輩JSPA会員の皆様には、新メンバーの方々がスキー場で安全かつ快適な滑走をサポートできるように、ご指導やアドバイスをくださいますよう、よろしくお願いいたします。

会員	県連	氏名	会員番号
	北海道	森川 祐子	0162103
	北海道	齊藤 友紀	0162105
	北海道	木下 豊	0162106
○	青森県	小田川 倫代	0262102
○	青森県	杉山 美里	0262215
○	青森県	三上 勝将	0262239
○	岩手県	及川 大造	0362212
○	栃木県	手塚 聖一	0962209
	栃木県	石田 篤	0962220
	栃木県	田口 拓一郎	0962223
○	栃木県	竹内 悠里亜	0962226
○	栃木県	阿部 花恋	0962237
	群馬県	萩原 大介	1062206
	群馬県	宮崎 圭太	1062218
○	埼玉県	平川 とも子	1162213
○	埼玉県	矢島 亨	1162216
○	東京都	石川 晃三	1362205
○	東京都	川畑 文代	1362238
○	東京都	滝内 千春	1362240
○	神奈川県	石井 有生	1462204
○	神奈川県	伊藤 優	1462210

会員	県連	氏名	会員番号
○	神奈川県	岸 廉太郎	1462233
○	神奈川県	石井 優愛	1462245
	新潟県	児玉 岳	1562230
○	新潟県	山本 凱紹	1562231
○	石川県	黒田 祐史	1762228
○	石川県	井村 翼	1762229
	山梨県	天野 賢	1962224
	山梨県	唐澤 成光	1962243
	長野県	正木 健介	2062219
○	静岡県	山田 敏之	2262244
○	愛知県	戸田 和幸	2362211
○	愛知県	藤村 真奈美	2362214
○	愛知県	田中 裕大	2362234
○	愛知県	上野 勝美	2362236
	滋賀県	三田 修	2562203
○	滋賀県	勝田 佳奈	2562207
○	兵庫県	谷口 博文	2862104
○	兵庫県	和田 雅子	2862221
○	兵庫県	藤原 敏明	2862222
	兵庫県	津崎 良太	2862235

第1会場 ルスツリゾート 合格記



青森県スキー連盟
八甲田山スキークラブ
第62期 小田川倫代



八甲田山の雄大で美しい大自然に魅了され、上質なパウダースノーを求めてスキーに通い始めたのは今から30年以上も前のことです。気が付くとボランティアのスキーパトロールとして八甲田山ロープウ

エーで活動させていただくようになっていました。

しかしながらボランティアであることに甘んじ、また自分の基礎スキーの技術不足も重々承知していたので、「公認スキーパトロール検定」を受けることなど、今の今まで考えたことがありませんでした。今回受けることを決断した背景には、パトロール隊の仲間達が続々と検定に挑戦し頑張っている姿を目の当たりにしたことにあります。それに影響を受け、私もこれではいけないと奮起し受検の決断に至った次第です。

スキーシーズンの始まりとともに、スキー実技の練習に専念するため、ロープ操法、救急法、理論テストの勉強に関しては、検定までにある程度仕上げようとおこうと計画を立てて進めていました。

いよいよスキー場がオープンし早速練習を始めたのですが、案の定、初めてのアキヤボート操作にてこずり、難渋しておりました。私の犠牲となりボートから投げ出された方々には深くお詫び申し上げます。真下搬送に至っては、基礎の基礎である横滑りがうまくできない結果、見るも無惨で悲惨な状態でした。練習を重ねてもなかなか上達せず、何度も挫けそうになり、心折れそうになり、不安で眠れなくなり、正直受検を決めたことを後悔したりもしました。

そんな中でも諦めずにここまでやってこれたのは、こんな私を決して見捨てず、可能性を信じてくれて、一生懸命に指導し応援してくれた仲間の存在があったからに他なりません。

また青森県スキー連盟の皆さんや八甲田山スキークラブの皆さんにも熱心なご指導ご鞭撻をたくさんいただきました。本当に本当に感謝しかありません。

これからは有資格者として自覚を持って、更なる技術、知識の向上を目指し、八甲田山スキーパトロールの皆と共に、お客様が安心安全にスノースポーツを楽しめるためのパトロール活動に邁進して参りたいと思います。

第2会場 ハンターマウンテン塩原 合格記

検定会を通して感じた絆

神奈川県スキー連盟

第62期 石井 優愛

私は、夏には海でライフガードとして監視活動をしているため、雪山でのパトロールの仕方も学びたいということ、普段利用させてもらっているスキー場などでお仕事がしてみたいという思いがあり、まずは技術を身につけようということで公認スキーパトロールの受検を決めました。また、せっかくなら一緒に受けようということで父も受検を決め、親子での受検となりました。

まずはロープ操法や三角巾、学科の講習会を受講しました。初めてお会いする方ばかりで、職種や年齢も様々だったため、とても緊張してその日を終えたのを覚えています。その後1ヶ月空き、菅平での養成講習会が行われました。養成講習会に参加したメンバーの所属は東京都と神奈川県だったため、ほとんど全員が初めてアキヤボートに触るという状態でした。初めて触るアキヤボートの操作はとても難しく、仲間達と一緒にどうしたらうまくいくか、アドバイスし合いながら、また、講師の方々にご教授いただきながら無我夢中で駆け抜けた2泊3日でした。



また1ヶ月ほど空いて、検定会会場となるハンターマウンテンでの練習会に参加しました。東京都と神奈川県から参加の4名とハンターマウンテンで日頃パトロールをしている方と合同で、実際の検定バーンでの練習となりました。菅平の練習の時に使わせていただいたアキヤボートよりも、ハンターマウンテンのアキヤボートの方が軽くて操作しやすかった分、安定性がなくなりアキヤボートが変わるだけでこんなにも操作に違いが出るのだということを実感しました。この練習会に参加させていただいたからこそ、検定会の際に落ち着いて滑ることができたように感じます。

そこから検定会当日までは父と自宅でロープや三角巾、学科の確認をしながら過ごし、養成講習会と一緒に受けていた仲間たちともみんな連絡を取り合いながら検定会に向けて準備を進めていきました。



公益財団法人全日本スキー連盟
スキーパトロール検定会(第62期)
2023年2月23日~25日 栃木県ハンターマウンテン





検定会当日は緊張感がありつつもとても雰囲気の良い中での実施となりました。他の受検生の滑走が始まる時には「ガンバー！」と声を掛け合っていたため、緊張も少しほぐれ、声をかけてもらった際には気持ちが引き締まり、みんなで一緒に受検しているのだという気持ちが湧き、受検生同士の絆が深まったように感じます。私はゼッケン番号が受検生の中で1番最後だったため、他の受検生を見送ってからの滑走となることが多く、

最後の方は少し寂しかったですが、拍手で迎えてくださったり、声をかけてくださったりしたのがとても嬉しかったです。

また、検定会中の宿は、養成講習会と一緒に受けたメンバーで同じところにしようということになったため、学科やロープ、三角巾などを夜みんなで集まって確認したり、ご飯を一緒に食べたりした時間がとても印象的で、一緒に受けた仲間とはこれから先も関わり続けていけるのだろうなということを強く感じました。

一番不安が大きかった理論試験もなんとか終わることができ、ロープや三角巾の検定の際も、ゼッケン番号の近いメンバー同士で声を掛け合いながら行うことができ、合格発表を待つ際には、検定を終えてホッとした気持ちと受かっているかどうかの不安の気持ちが混在しており、ずっとソワソワしながら待っていました。結果は父も私も無事合格することができ、本当に嬉しかったです。



父と一緒に受検したことで、行き帰りや宿などで過ごす時間はとても安心感があり、検定内容について相談することのできる相手が身近にいたので、何か悩んでもすぐに相談することができたのがとても良い面でした。父の普段は見ることのできない一面を見ることができたのも親子で参加したからならではあるなと感じました。懸念点としては、もし、どちらかが落ちてしまったらということ想像するととても気まずく、その点に関しては合格発表前とても怖かったです。

私は、まだスキー場での実務経験はないので、この合格がゴールではなく、ここがスタートだと思っています。合格したということに慢心せず、スキーの技術や搬送技術だけでなく知識面や人間性などもこれから一層磨いていきたいと思っています。

今回の受検にあたってお忙しい中、講習会を開いてくださった専門委員、技術員の皆様、また、共に頑張ってきた同期の皆さん、ハンターマウンテンの皆様、菅平高原の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

第1会場 検定風景



第2会場 検定風景



第2会場 検定風景





1日目

開会式後に雪上研修。「基礎技術の確認」「アキヤ、ロープボートの後方一人操作（全員実施）」
「リフト救助訓練」「4チームに分かれてのアキヤレース」を行いました。

第1走 傷病者がいる地点まで空搬送

そこで負傷部分を指示され、三角巾で手当て

第2走 次のタッチゾーンまで二人搬送

第3走 タッチゾーンで交代し、ゴールまで搬送

スタートからのタイムレース

三角巾が未完了は2分、転覆は5分のペナルティ

優勝チームに景品（日帰り温泉ペアチケット）が授与されました。



2日目

室内研修。消防署員の指導による傷病者
バックボード固定の実践とロープ操作の確認。
参加者は、57名でした。



参加者の感想

- ◎ 9時から17時すぎまで盛りだくさんであったが、あっという間に過ぎてしまった。緊張していたのは、アキヤ後方一人操作までで、アキヤレースは、チームで協力して取り組み、仲間意識が高まった。
- ◎ リフト救助訓練は、スキー場の協力なしではできない訓練で、初めての経験だったので参加してよかった。（他の研修会（指導員）より楽しかった。また参加したい）
- ◎ 今回は、分宿で全員が揃わなかったが、全員の合宿制が早く戻って欲しい。たまたま同じ宿の仲間とは、打ち解けることができた。
- ◎ アキヤ後方一人操作を全員行ったことで、検定以来で忘れていたことが多かった。あれだけ練習したのに、うまくできなかった。
- ◎ もやい結びの時代からカタカナの名称に変わっているので、結び方を1から覚えなおすのが大変でした。実際の活用方法を知りたい。



2023年3月18日(土)～3月19日(日)、秋田県・たざわ湖スキー場において、(公財)全日本スキー連盟の公認スキーパトロール総会・研修会(東日本会場)が、秋田県スキー連盟のパトロール研修会と同時に開催されました。

総勢50名ほどの参加者があり、初日は、ライト班、研修課題班、パトロール技術強化班に分かれて雪上研修が行われました。夕方は室内において、外部講師の山上真一さんによる「ロープレスキューの講義」と「実践訓練に備えた器具の扱い方の実習」がありました。

2日目は、前日受講したロープレスキューの雪上での実践訓練が実施されました。

また、8チームが出場し、「アキヤ交流会」と称して、搬送者2名、仮患者1名の3人一組制によるアキヤポートデュアルレースがトーナメントで実施されました。8チームの参加で、優勝：地元秋田県チーム、準優勝：神奈川県・埼玉県の合同チーム、3位：青森県チームという結果でした。なかなかの盛り上がりで、SAJで以前行われていたパトロール技術競技大会を思い出しました。



● 知って納得！ウィンターリゾートの裏側見学会バックヤードツアー

2023年3月18日（土）～19日（日）長野県エイブル白馬五竜において、愛知県スキー連盟安全対策部部長の福岡優子さんが企画した「バックヤードツアー」が開催されました。開催にあたり、（株）五竜・白馬五竜観光協会の後援をいただきました。

ウィンターリゾートであるスキー場で、安全管理の第一線で活躍するスキーパトロールに、その活動の内容を詳しく解説してもらいました。

参加者は愛知、大阪、静岡、鳥取、静岡県より22名で24歳～79歳と幅広い年齢層からの参加があり、関心の高さがうかがわれました。



1日目

17:00 開会式

17:15 講演会

「楽しさと安全を作るスキーパトロール活動の実態」～白馬五竜パトロール編～

講演者：白馬五竜パトロール隊長 岩本智（いわもとさとし）54歳

全日本スキー連盟公認スキーパトロール

長野県スキー連盟安全対策部委員

スキーパトロール歴30年 大町市在住



講演内容

★スキーパトロールの1日の活動について

- ・始業点検の内容
- ・スキー場の管理区域と管理区域外の境界の目印設置
- ・巡回中の作業
- ・就業点検の内容

★アバランチコントロールの作業内容について

- ・スキーカットの動画視聴

★けが人救助について

- ・常に持ち歩いている資材の紹介（実際に持ってみるとかなり重たい）



質疑応答

質問1 とても困ったお客さんはどんな人？

誰が見ても大けがをして歩くことすらできないけど、応急手当を拒み続ける人がいた。その場に放置はできないが、対応しようとするのが嫌がられる。でも動けない…

無理やり救助ボートで下山させたが、「早くボートから降ろせ!」と怒鳴られた。

質問2 ポールやネットをきれいに設置する意味について

お客様を誘導するために本来なら人間が立つ。それをポールやネットが代わりにやってくれていると思えば自然ときれいに設置できるようになる。

質問3 うれしいことは？

晴天の時に美しい景色を堪能できること。

2日目

9:00 巡回説明

パトロール隊長の解説によりスキー場内を巡って見る。

- 雪崩の巣とも言われる地形を理解し、スキーカットによる雪崩切り「通称:テストスキー」というアバランチコントロールを行う場所を見学。
- 立ち入り禁止の看板の意味。「DO NOT ENTER」ではなく「Permanently Closed」と書くのはなぜか？
立ち入り禁止は、今だけではなく、永久的に侵入してはいけないという意味を知らせるために記載している言葉。
日本人は、「立ち入り禁止」だけで十分意味が解るが、外国からのお客さまは、捉え方が違うからである。
- テレキャビン山頂駅に隣接するパトロール本部に置いてある救助用資材の見学。(崖から転落した人を引き上げるための資材やバックボード)



山頂付近のスキー場管理区域の境界線。ここに設置してある雪崩危険度を示す看板。日本雪崩ネットワークと提携して毎日の積雪状況に応じて表示を入れ替えるのもパトロールの仕事。初めて見る表示板に、参加者の目は釘付けでした。



参加者の集合写真



参加者の集合写真

■ 我らの仲間

私たちのスキー場は、

「リステルスキーファンタジアスキー場」です！

パトロール隊長
正木 勝博 (第29期)



茨城女子パト
ゆきちゃん&あきちゃん

今回は私たちが、近隣のパトロール現場に、取材と称して、朝一の巡回に同行して、お仕事についてや、オススメのゲレ食などのお話を伺いました！

朝の巡回業務、お疲れさまでした。頂上から見た猪苗代湖の景色が、素晴らしかったですね～！

ここ猪苗代のリステルスキーファンタジアは、大きなリゾートホテルが特徴ですね。以前、JSPAの総会でも利用させていただきました。お客さんの特徴としては、どんな方が多いですか？

スキーデビューをするような子どもさんとご家族が、ホテルに泊まりつつゲレンデを楽しまれる方とか、海外のお客さんが、観光とスキーを楽しむといった、ホテル一体型のゲレンデです。エキスパートの方には、物足りないと思いますよ。でも、思いがけない傷病者も結構います。



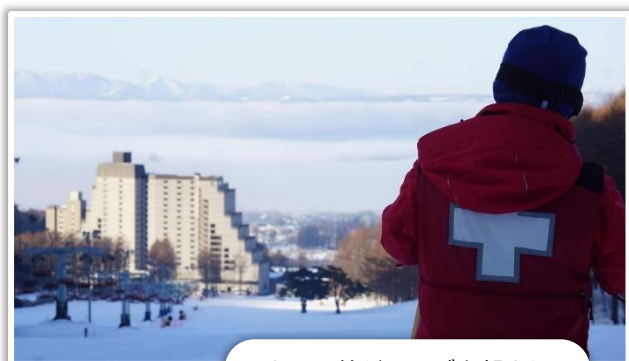
雲海の先に猪苗代湖

思いがけない傷病者とは、どんな症状のお客さんがいらっしゃるのですか？

都心から来られるお客さんが多いため、寒さ対策がしっかりできていない状態でゲレンデに遊びに来ます。晴れていても長時間外にいれば、汗が発散され、気が付いたら低体温になっていて、気候の急変によって軽い凍傷にかかってしまう場合もありますよ。

え～！？凍傷ですか？骨折とかよく聞かれるケガではないんですか？

もちろん骨折もあります。緩斜面でも、ケガが大きい場合があります。よく言われますが、ボーダーは上肢、スキーヤーは下肢が多いですよ。



ホテル前ゲレンデ上部より

正面がファミリーゲレンデですが、第二リフトから降りると、いきなりすごいコースがありますね。ワールドカップでも使うダフィーコースはさすがにすごいですね？

フルにコースオープンできる日は少ないんですけど、ゲレンデの特徴で、南東向きなので雪が消えやすく、雪質の変化が極端になっています。その都度、様子を見て、できる限りオープンするようにしています。



チームリステル西沢岳人選手

目の前のゲレンデはファミリーが多いですよ。車のナンバー見ても首都圏からの方が多い！さきほど、帽子もかぶらず、チャック全開で胸をはだけている方がいらっしゃいました～（笑）



巡回中の隊員

親が無知であるという人がすごく多いです。私たちの時代の常識が通用しないというファミリーが多くなってきました。

そういうファミリーだからこそ、救護室パトロールには、傷病者のみの方を入るようにしています。ご家族のかたでもお断りしています。

へえ？なぜですか？

例えば、小さいお子さんがケガをして、「僕いくつ？名前は？」と聞くと、親御さんが答えてしまうんですよ。でもこっちとしては、意識の確認として聞いているわけです。

やりたくないと言いたい子もいるし、頑張れる子もいます。近くに頼れる人がいなければ、子供は自分の言葉で話してくれます。修学旅行も同じで、先生に言えない心の折れた事情を聴いて、「先生、今日はもうやらないほうがいいですよ。」なんてアフターケアもします。そんなわけで、傷病者以外は入れないようにしています。

そのため、パトロールの入り口も表示が違うでしょ？わかりました？

普通はパトロールと書いてあると思いますが、うちは「**救護室**」なんです。



パトロール室入り口

リゾートホテルで海外のお客さまが多く見受けられますが、困ったこととかないですか？

だいたいボディランゲージで通じます。言葉が通じなくても、表情や触った感じで、だいたいケガの具合が想像できますので、適切に判断できていると思います。

ただ、リフトが短く乗り降りも多いので、スタッフが、目につきやすい。ちょっとしたことでも、クレームにつながりやすく、それが、私たちじゃなく、ホテル全体へのクレームになってしまうから、ものすごく気を使います。

ホテルと一体型の特徴ですね。ゲレンデだけじゃないんですね。

そんなリステルスキー場の、パトロール隊の方たちを紹介してください。

あ、みんないい人たちですよ！（笑）常勤は3名です。そのほかの方はスポットです。土日や長い休みのときに来てもらっている人もいます。

中でも新井パトロールは、もともとモーグルの選手で、現在はコーチをしつつパトロールを兼務しています。

この規模のスキー場で3名もいないんじゃないか？といわれるのですが、それなりの体重の方が1人意識不明となったら、力持ちの女子男子で最低でも3名は欲しいところです。

平日は、人がいないかもしれないが、いないからこそ大変なんだということを知ってほしいですね。何か起きた時に、最低でもこの人数を確保しておきたいですね。

私の師匠から預かった大切な言葉ですが、「パトロールはスクールよりも足前がなければダメだ」ということです。もちろん体力もなければできませんが、加齢は…避けられないですね（笑）

お客さんに、「何を根拠に医者でもないのに処置できるんだ？」と聞かれることもありますので、ファーストエイドの資格証はいつでも見せられるように用意しています。

（とって、スキーや赤十字の資格証を見せてくれました）

実は、36年自衛隊におりました。（驚！！）

自分が隊員に求めるパトロール像としては、
「何かあったときに自分の判断で動けるパトロールでいてほしい」と思っています。

お忙しい中、ありがとうございました。



モーグルカレー



星野選手おすすめプーティン



左から、正木勝博隊長、三瓶幸子隊員、
星野純子選手、新井まゆみ隊員、長谷川純一隊員

取材：茨城 45 期 石川由紀子
茨城 46 期 穴戸 彬子

第 52 回 JSPA 総会 広島大会の御案内

開催日：2023年8月26日（土）～27日（日）

場 所： **安芸グランドホテル**

広島県廿日市市宮島口西1丁目1-17

観 光：大和ミュージアム、てつのくじら館

参加費 ● 宿泊参加（1泊2食）大人1名 **27,500円**（石見神楽・懇親会）
小人1名 **21,000円**（小学生以下）

・1部屋を1名で利用する場合 **+7,500円/室**

・1部屋を2名で利用する場合 **+4,000円/室**

● 日帰り参加 大人1名 **13,000円**（石見神楽・懇親会）

● 前泊希望の場合（1泊朝食のみ） **16,000円/人**（2名1室）

● 2日目の観光

・ **3,500円**（バス・大和ミュージアム入場料を含む）

※ 自家用車等で現地参加の場合は大和ミュージアムの入場料 **400円**が必要

ホテルへのアクセス

・ 自家用車 山陽自動車道 廿日市ICより約10分 大野ICより約13分

・ JR 宮島口駅より約1km タクシー約3分

・ 無料定期送迎バスあり（JR 宮島口発→ホテル）

JR 宮島口駅改札正面のセブンイレブン右隣の駐車場から出発

08:10～14:10 15:00～19:00 で30分に1本運行（出発時刻の5分前からバス待機）

締め切り

申し込みハガキの投函（欠席時の委任状記入を含む）

参加費用の振込（同封の振込取扱票を使用する）

7月10日（月）必着

8月10日（木）



ホテルの情報はこちら

今回の総会は、

広島じゃけん

みんなきんさいや!



第52回 JSPA 総会は、『広島の温泉と日本遺産構成文化財に指定された石見(いわみ)神楽の特別公演』をご用意いたしました。

翌日の観光は、呉まで足を延ばし大和ミュージアム、海上自衛隊呉史料館を見学いただけます。ぜひ、ご家族お友達を御誘いあわせの上ご参加ください。

当日の日程

26 日	10:00	理事会	27 日	07:00	朝食
	13:00	受付開始 ・ 地区幹事会		08:45	観光ホテル前集合
	15:00	総会開始		09:00	バス出発
	16:00	石見神楽		10:30	大和ミュージアム ・鉄のくじら館到着 見学
	18:30	懇親会 (21:00 終了予定)		12:30	鉄のくじら館出発
			13:30	JR 広島駅到着予定 (解散)	

【石見神楽】

日本遺産に認定された、石見(いわみ)神楽は島根県西部の石見地域で伝承されている神楽です。絢爛豪華な衣装やアップテンポが特徴な豪快な舞をご覧ください。



【大和ミュージアム】

展示されている戦艦『大和』は、10分の1の大きさで、設計図や写真、潜水調査水中映像などをもとに可能な限り詳細に再現されています。その他、零式艦上戦闘機や人間魚雷『回天』、九三式魚雷などの貴重な実物資料が展示されています。東洋一の軍港として栄えた呉の歴史などが紹介されています。



【海上自衛隊呉史料館】

てつのくじら館では、潜水艦や掃海艇(機雷の除去)の活躍や、海上自衛隊の歴史が紹介されています。

実際に活躍していた潜水艦内部に入りさまざまな内部構造を見ることができ、実際の潜望鏡をのぞき外の様子を見ることができます。ここでしかできない体験です。国をマメル自衛隊の決して表に出ることのない謎に包まれた潜水艦の神秘が覗けます。

【二次会不さいのお詫び】

今年度はコロナ5類感染症移行になりましたが、長時間の懇親会を避けるため二次会はいりませんのでお仲間内ではお部屋でのミーティングにご協力ください。



JSPA 総会に参加する場合には、
同封のハガキや振込用紙を使って
必ず期日までにご連絡ください。
うっかり忘れてたっ！場合は、
総会事務局まで、直接ご連絡
お願いいたします。

第 52 回 JSPA 広島総会事務局 保坂 淳司
携帯：090-3230-2239
メール：jhtotoro821@gmail.com

払込取扱票		振替払込請求書兼受付票	
金額	¥31000	金額	¥31000
前泊	16,000円 × ____名 (1泊朝食のみ)	前泊	16,000円 × ____名
参加	大人27,500円 × <u>1</u> 名、小人21,000円 × ____名、 宿泊追加：□2名利用4,000円 × ____室 1名利用7,500円 × ____室	参加	大人27,500円 × <u>1</u> 名、小人21,000円 × ____名、 宿泊追加：□2名利用4,000円 × ____室 1名利用7,500円 × ____室
日帰り	13,000円 × ____名 / □翌日観光 3,500円 × <u>1</u> 名	日帰り	13,000円 × ____名 / □翌日観光 3,500円 × <u>1</u> 名
総会御寄付	合計 ____円 【払込締切：2023年8月10日(木)】	総会御寄付	合計 ____円

振込期限
8月10日(水)まで

はがき
7月10日(月)必着

2023年8月26日開催の第52回総会に

御出席 御欠席

どちらかに☑をお願いします。
・御出席の方は、下記にお答え下さい。
・御欠席の方は、委任状に署名・捺印願います。

御出席の方		☑をお願いします。	
到着日時	月 日	時	頃
交通手段他	<input type="checkbox"/> 自家用 <input checked="" type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 高速バス <input type="checkbox"/> 飛行機		
	<input type="checkbox"/> その他(同行者) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
参加会議等	<input checked="" type="checkbox"/> 理事会 <input type="checkbox"/> 地区幹事会 <input checked="" type="checkbox"/> 総会		
	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会 <input checked="" type="checkbox"/> 懇親会		
宿泊の有無	<input type="checkbox"/> 前泊希望 (大人: ____人、子供: ____人)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 宿泊します(大人: ____人、子供: ____人) (郵便・同室者の希望等: ____人)		
	<input type="checkbox"/> 宿泊しません		

翌日の観光について
大野ミュージアム・つづのくじら館
参加費 3,500円・参加の有無と人数を必ずお答え下さい。
翌日観光に参加 (1 人)
バス乗車希望
現地参加 (自家用車等にて移動)
不参加

委任状 (御欠席の方)
2023年8月26日開催 第52回総会の議決事項について議長に委任いたします。
2023年 ____月 ____日
氏名 _____ 印

書き損じはがき受付中

ご自宅に、書き損じた「はがき」や、使わない「切手」などありませんか？
総会期間中に、受付にて回収しております。
お持ちいただいた方には、はがき5枚につき
JSPA オリジナルシール1枚差しあげます。

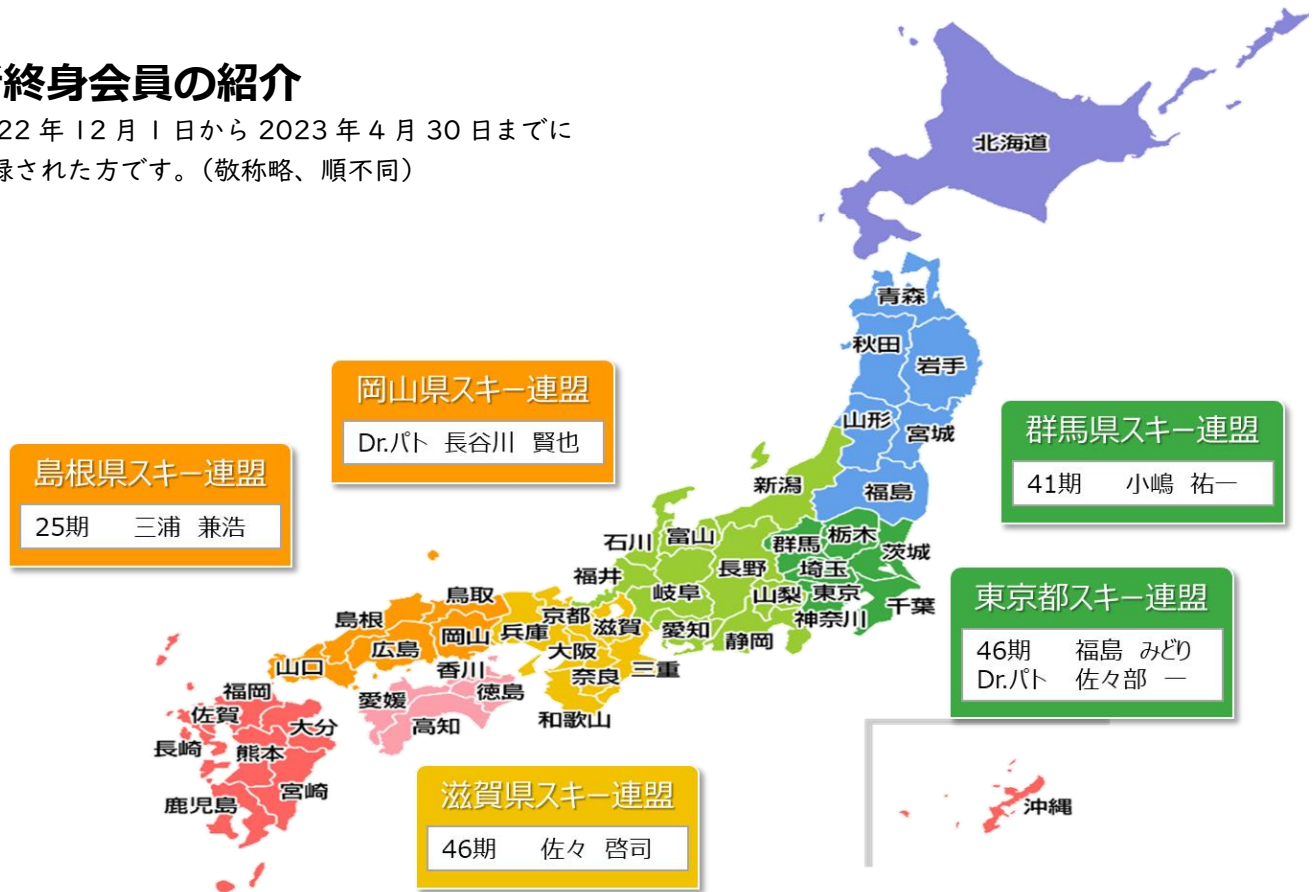
※著しく汚れているもの、利用済の郵便切手、料金を表す部分が見えないものなどは対象となりませんので、ご注意ください。



事務局より（新終身会員・寄付者名簿・ほか）

新終身会員の紹介

2022年12月1日から2023年4月30日までに登録された方です。（敬称略、順不同）



寄付者受領名簿

日付	県連・期	氏名
2022.12.16	東京 49 期	村松 寛治
2022.12.20	山口 14 期	大森 誠
2022.12.21	愛知 32 期	成田 和親
2022.12.21	愛知 42 期	三浦 欣也
2022.12.22	東京 36 期	中澤 義昭
2022.12.23	広島 Dr.パト	片山 禎夫
2022.12.23	長野 24 期	田村 一司

日付	県連・期	氏名
2023.1.19	青森 34 期	新田 賢三
2023.1.19	東京 42 期	佐瀬 秀幸
2023.2.15	福島 24 期	安田 伸

2022年12月1日から2023年4月30日までに寄付くださった方々です。

今後の JSPA 活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。（敬称略）

訃報

和久井 安治さん
川原 信吉さん

（享年 83 歳）

神奈川 8 期
岩手 17 期

2022 年 逝去
逝去

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。